

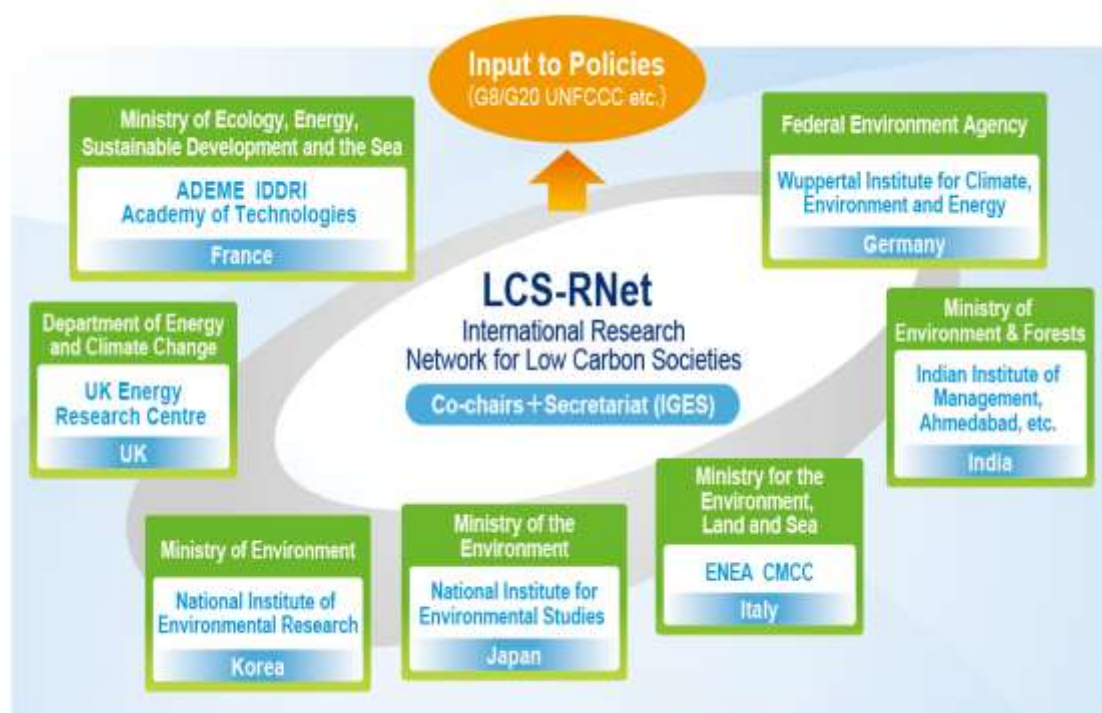
平成 23 年 12 月 9 日
中央環境審議会地球環境部会

低炭素社会国際研究ネットワーク（LCS-RNet）について

環境省地球環境局

1. 概要

- 2008 年の G8 環境大臣会合において、我が国の提案により、低炭素社会の形成を科学の面から支えることを目的として、各国研究機関の経験や知見の共有、対話の促進を行う低炭素社会国際研究ネットワーク（International Research Network for Low Carbon Society）を設立すること合意され、2009 年から活動を開始した。
- G8 を中心とする各国を代表する研究機関により構成されており、現在 7 カ国 16 研究機関が参加している。本ネットワークを通じて国際的な低炭素社会政策研究の情報交換・共有・連携を強化し、成果を国際的な政策及び各国の政策にインプット・フィードバックすることとしている。なお、日本からは、(独)国立環境研究所が参加し、(財)地球環境戦略研究機関（IGES）がネットワークの事務局となっている。
- 本ネットワークの活動成果は、今後開催される G8 環境大臣会合に報告されるが、これまで、2010 年及び 2011 年の国連気候変動枠組み条約締約国会議や同条約作業部会のサイドイベント、世銀の開催するセミナーの機会を捉えて、国際的なフォーラムにおいて発信されている。低炭素社会形成は、カンクン合意に盛り込まれているように、今後、先進国・途上国の両方で、経済政策や国の発展計画の中心的な事項として位置づけられていくことが期待される。



2. アジアにおける LCS-RNet の活動

- アジアにおける低炭素成長は、世界全体の温室効果ガス半減の達成の鍵を握ると考えられることから、LCS-RNet での活動や、約 20 年間に及ぶ国立環境研究所における統合経済モデルに関するアジア各国との研究交流を基盤として、アジア各国の代表的な低炭素社会に関する研究者・研究機関のネットワーク形成に向けた活動を進めている。
- これまで、国立環境研究所、京都大学、IGES 等で協力し、JICA の活動とも連携し、マレーシア、ベトナム、タイで、各国の政策決定者も招いたワークショップを開催し、研究者と政策決定者の対話を促進してきた。
- また、行政的には、LCS-RNet のアジア版ともいえる「アジア低炭素開発研究ネットワーク (ARNLCD)」の設立を ASEAN+3 環境大臣会合にて提案している。

Asia Research Network for Low Carbon Development (ARNLCD)

